

まちづくり懇談会概要

テーマ：観光行政の進め方

- 1 日 時 令和6年8月2日（金）10時～12時
- 2 場 所 ふれあいセンター2階 第3会議室
- 3 参加者 飯高檀林跡観光ガイドの会など 12人
- 4 市職員 市長 商工観光課長 生涯学習課長 秘書課長
- 5 概 要
 - （1）開会
 - （2）市長あいさつ
 - （3）意見交換
 - （4）市長御礼あいさつ
 - （5）閉会

6 懇談会の概要

発言者

講堂の裏に牡丹園があるが、そこに講堂修復時に事務所として使用していた古いプレハブがある。現在は牡丹園の肥料や寺の掃除用具、檀林コンサートで使用するイスや板などの資材置き場になっているが床の部分から竹が生えてくるなど老朽化が著しい。市で新しいものを建ててもらいたい。

また、ロータリークラブから黄門桜の柵を修復する名目で20万円ほど寄付を受けたが、柵の設置場所の地権者との交渉が難航して柵を設置できなかった。市で柵の設置を行ってもらいたい。

市長

私も現地を確認しており、プレハブの床など傷んでいることは認識している。ただ、予算もかかることであり、この場ですぐに直しますとは言えない。この件に関してどのような対応が可能か持ち帰って協議したい。黄門桜の柵についても現地を確認し、対応を検討したい。

発言者

4点ほど意見を述べたい。

1点目、天神山公園の管理について。管理はだれが行っているのか。桜の年齢的に見ごろを迎えており、時期になると桜を目当てに観光客も多く訪れているが「ちいちいの森」や「運動場周辺の花」など水もやらずにほったらかしの状態になっている。気が付いた人が水を撒いている状態にある。運動場の芝桜も数年で管理が行われなくなりほとんど消えてしまった。芝桜の代わりにコキアやバラが植えられたがこちらもすぐに枯れてしまった。公園の管理が全くできておらず公園を理想的な状態に保つことを市が考えているのか疑問である。公園を適切に管理してほしい。

2点目は、春の藤祭りの時に運行される周遊バスだが飯高檀林跡で下車する人がほとんどいないことについて。4～5年前からバスの運行は行われており、下車人数を記録しているが、その利用者数を見ても、バス運行自体が無駄ではないかと思う。人が乗らない周遊バスの運行よりも市民などへの周知方法を工夫してもらいたい。広報紙でイベントは周知されてはいるが、さらに有効な防災無線を使って周知してもらいたい。防災無線は防災用なのでイベント周知には使えないと聞いたことはあるが、そのようなことにこだわらずに使わせてもらいたい。

3点目は、飯高地区の問題。天神の森を通るハイキングコース上にある各観光場所の管理状況が非常に悪い。飯高神社などは落葉や枝が散乱しており掃除がほとんどされていない。この場所は金蘭や銀蘭などの貴重な植物の群生地にもなっており、これを目当てに来る人もいる。このような人や飯高寺の彫刻を見に来た人が掃除されていない現地の状況を見てがっかりしているので定期的に掃除を行ってもらいたい。また併せて建物の修復についても検討してもらいたい。以前、建物の保存状態が悪いと専門家に指摘されたことがある。拝殿が丸太で支えられている状況は素人目から見ても廃墟のように感じられる。市や県の文化財に指定されているのにこのような状況に放置しておいて本当にいいのか。氏子がやらなければいけないことであることは十分理解しているが出来ないので何とか助けてほしい。先人が大事に残してきたものをこのまま朽ちさせたくない。

4点目、以前、モミの木が倒れた際に撤去するために作った重機用の道を封鎖してもらいたい。この道路ができてから簡単に車の出入りが可能になり、貴重な山野草の盗難が後を絶たない。車が入れないように進入路にカギを付けるなどの対策を早急に行ってもらいたい。

市長

天神山公園の件、管理が市職員だけでは行き届かないところがあるのは正直なところ。日々の見回りはできていない中、どのように管理していくか悩ましいところである。公園の将来像を描きながら管理することは重要であるので担当課と現地に行き、打ち合わせをしていく。今後の課題として預かりたい。

周遊バスと防災無線についてだが、観光案内などの情報発信を防災無線で行うことは既に始めている。情報発信のあり方について再度検討したい。

飯高地区の観光名所の管理については、なかなか行政のみで行えるものではない。飯高檀林は守る会の皆さんが協力して綺麗な状態を保っているが、飯高神社まで手がなかなか回らないと思う。引き続き、皆さんに協力いただきながら市民との協働を進め、地域愛の醸成を含めた空気づくりが必要な時が来ていると考える。

市によって文化財を管理していかなければ未来に繋げていけないと感じ始めているが、市だけの予算では難しい。国や県による文化財保護の補助金が活用できないかを調べ、文化財の保全について検討したい。

商工観光課長

2点目の周遊バスの関係であるが、ご存じの通り、コロナ禍の時期にあっては周遊バスの運行は行っていなかった。昨年度の令和5年よりバスを再開したが、ご指摘の通り利用者数が少なかったことは事実であるが、今年は昨年よりも利用者数が増加している状況にある。JR 東日本とのイベント実施や、市民向けのイベント周知などを行いつつ、周遊バスの見直しも含めて検討をしていきたい。

発言者

定住者を増やすことや子どもたちの教育レベルを上げることを考えてもらいたい。

檀林の話から外れてしまうが、ご存じの通り、匝瑳市は成田空港周辺の9市町村連絡協議会に入れなかった。今度この9市町村に新しく3団体が加入し、成田空港発の観光などを企画するプラスナリタラボ株式会社が立ち上がった。この会社は成田周辺の市町村の特産品の物販、観光を後押しする会社である。こういった企業に匝瑳市の観光名所である飯高檀林をPRしてもらい、少しでも観光客を増やしたい。この会社に参加してはどうかと考える。ただ、観光客が来るのを待っているだけでは何も進んでいかない。

このままではどんどん若い人たちは外に出ていってしまい帰ってこない。匝瑳市に

は産業もないので人がつなぎ留められない状態にある。外からの定住者を連れてくるため、シャトルバスによる交通網の整備が必要ではないか。これがなければ成田空港圏から人を引き込めない。多古町のバスターミナルは通勤に使う現役世代や都会の学校に通う学生など、多くの人が利用している。シャトルバスの運行は赤字にはなるが地域の利便性向上のため実施を検討してもらいたい。

市長

これから空港の機能強化にあたり、成田空港と匝瑳市は非常に重要なところにあると認識している。市長に就任後、成田空港に幾度も足を運び、さまざまな協議を行ってきたところである。最近は一市単独での訪問のみならず海匝の3市でまとまって訪問し、意見交換なども行っている。

今後、多古町に第3滑走路ができることで空港の隣接市になる。9市町村連絡協議会は飛行機の騒音がある市町村が元になっているが、匝瑳市も雇用の場、観光面などさまざま協力していける面があるので成田空港の社長との面会などを通じ、我々の思いを伝えている。協議会への加入をあきらめたわけではなく、現在は、加入に向けて一步一步着実に進めているところであるのでこの件はもうしばらく時間を頂きたい。空港と連携し、その恩恵が匝瑳市に及ぶように努めていきたい。

発言者

成田へのシャトルバスの話であるが一市民として考えた場合、生活が非常に便利になるとは思う。ただ、成田への移動が容易になることは、市内の本町通りのような商店街から人がいなくなることも意味しており、シャッター街となっている現状が改善されず今後、何十年も続くことでもある。このような地域商業の衰退を食い止めるには、故郷を大事に思う人間を地元で育てていく方法しかない。利便性を都会や成田などと比べても絶対にかなうわけがないのだから無意味である。交通網の整備に意味がないとまでは言わないが、それよりも故郷を愛してくれる人材を育成することのほうが有意義ではないか。

匝瑳市はインターチェンジ周辺の整備も進んできている。また駅も特急の停車駅になっているなど交通網がまったく整備されていないわけではない。成田を基準にしてばかり考えることから少し脱却することも大事だと思う。

市では今、移住者に向けた施策に力を入れているが、若い世代の移住者ばかりに目を向けるのではなく、高齢者の移住策も考えてみてはどうか。高齢者でも人口が増え

ることに変わりがない。人口が増えれば地方交付税が入ってくる。高齢者が地域で消費するお金で市の税収も増えるはずである。故郷を愛してくれる人材育成と共に高齢者も対象とした移住施策も推進してもらいたい。

市長

シャトルバスのことは、匝瑳市の利便性を高めるためのものであり、成田に人を送るだけのものではない。あくまで匝瑳市に住んでいる人の利便性向上を考えてのことである。移住に関してはサービス付き高齢者住宅が整備されれば人口も増え、元気な人が地域に来て活発に活動することで地域活性化にもつながる。人材育成含め、貴重なご意見として伺わせていただく。

飯高特別支援学校校長

本校から要望等はありません。本校のことについて懇談会に参加している皆さんにより知っていただくことと本校の思いについてお話させていただければと今回この場に参加させていただきました。

本校は匝瑳市飯高にある県立の特別支援学校です。知的障害のある生徒が通う特別支援学校で小学部・中部・高等部の3つの学部があり、今年度は全校児童生徒数が58名でスタートしました。本校は35年の歴史のあった旧飯高小学校の施設を利活用して開校したので開校前から地域の皆さんの関心が高く、さまざまな協力をいただいている学校であります。平成27年の4月に開校しましたので今年で開校10周年を迎えます。ちなみに9月6日に10周年を祝う会を本校でささやかながら行う予定であります。開校当初から地域と共に歩む学校を目指しており、児童生徒の教育活動にもそれを取り入れております。具体的には地域美化活動として飯高寺やスダジイ、コミュニティセンターや学校周辺の歩道を地域の皆さんと一緒に清掃する活動を開校当初から続けています。また高齢者福祉活動として飯高デイサービスセンターの利用者と小学部の児童生徒との交流も続けております。また地域防災活動として本校を会場として毎年市の総合防災訓練を行っております。それだけではなく独自に地元の人と防災訓練や避難所開設訓練も行っています。また令和3年度からは地域広報活動として本校の高等部の生徒が飯高寺のガイドマップを作製したり、飯高の良いところをインスタグラムで発信する活動を行っています。こういった教育活動を通して地域の人と関わり、いっしょに活動するなかで児童生徒が地域の方から認められ、感謝の言葉を掛けられることで生徒が自分でも出来る、地域の役に立っているという自己肯定感

が高まり、それが自信につながり、主体的に行動する姿に結び付いていることを実感しているところです。

これまで市長からはさまざまなご支援をいただき、令和4年度は飯高神社の美化活動などを一緒にやっていただきました。昨年度は6月の学校公開にも参加いただき、2月にはふれあいパーク八日市場で毎年行っている中等部・高等部の生徒が作成した作業製品の販売を3日間行ったがそちらにもお越しいただいた。本年度の5月に行われた運動会には、お忙しい中にも関わらず勝又副市長にご参加いただけました。

今後に向けてまちづくりの推進とのことですが、匝瑳市の発展があってこそ飯高の発展もあり、飯高特別支援学校の発展もあると考えています。まちづくりのために本校としてもできることを微力ながらも続けていきたいと思っています。防災活動についても引き続き充実させていきたいと考えています。

匝瑳市の教育委員会との連携という部分で本校は特別支援学校なので特別支援教育のセンター的役割という役目を担っています。匝瑳市の小中学校の特別支援教育に対してその役割を果たしていきたいと思っています。学校教育課長には本校の学校教育委員会の委員の一人として日ごろから助言をいただいています。市内の不審者情報などの情報共有を行っていければと考えております。

最後に福祉課との連携ということで本校の児童生徒の中には匝瑳市要保護児童対策地域協議会いわゆる要対協対象の児童生徒も在籍しています。虐待の通告など日ごろから福祉課の職員の皆さんには迅速適切に対応いただいているところです。今後も連携を密に取っていければと思っています。

発言者

例年、5月か6月初めに行われる飯高檀林跡の総会で飯高地区の多くの世帯から任意で年間1000円の会費を納めてもらっており地区の関心が高い。また年に2回の檀林コンサートでも現場協力を地区住民が行ってくれていることもあり決して他人事としてとらえているわけではない。ただ本当に匝瑳市の財産、だれが持っているということではなくて価値ですが、皆さんから見て素晴らしいと感激してもらえるこの財産は、匝瑳市の財産でもあり、飯高地区にある財産でもある。この財産をより多くの人に感激してもらえるよう活用すべき、活用したいと思うが、地域としては少子高齢化が著しい状態にある。飯高神社の話でもあったが、飯高神社の草刈り清掃、伐採や手入れに手が回らない。関係者である氏子は会費を納めているがそれぐらいでほとんど手が回っていない。神社の現状をどこまで維持できるかが課題になってしまってい

る。より充実させる発展させるという方向性は人手がないことから地域の中から意見として上がってこない。財産の有効活用については当然、市が、商工観光課と生涯学習課が中心となって考えてくれているとは思いますがダイナミックに計画を立てていただいてやってほしいと思う。私が感じているのは、これまでは地元が一生懸命にやってくれているから、地元の皆さんは慣れているからなんとかできるよねという感じでずっと来てしまった。お金のことで申し訳ないが市の教育委員会からは年間5万円の補助金をいただいているだけである。お金があればいいというわけではないが、人手が欲しい。

本当に市の財産として計画をもってやっていただきたいと思う。文化財になっている部分については行政が手を付けることができるが、それ以外は宗教法人の持ち物である。神社もそうである。その限界、その境界があってさまざまな工夫が必要かもしれない。たとえば自然散策道の一環だというとならえ方で飯高神社の古くなった石段の整備ができないかと思った。そういった工夫を考えながら県と協議することをお願いしたい

発言者

観光ガイドとして12年目である。観光ガイドを続けてきて感じたことを述べたい。

飯高檀林跡を見学してくれた方の多くから非常に素晴らしい場所であるとの評価をいただき、ガイドを続ける励みになっている。一方で寂しい気持ちになることもある。市外からの観光客にお金を落としてもらうことができているためである。いろいろ市のPRをしているがお土産の購入や飲食店の訪問、植木の購入などに結び付いていないと感じている。具体例として正月の時期に旅行会社のツアーコースに飯高檀林が組まれることがあるがほとんど午前中に檀林を見学し、お昼には成田へ向かうパターンが多い。成田山のお参りをして昼食に鰻や成田のホテルでランチを食べするという流れで匝瑳市にはお金が落ちてこない。成田以外でも多古町の日本寺を見学するツアーの場合でも、午前中に檀林、午後に日本寺・芝山仁王尊に行くコースが設定されている。昼食は多古の道の駅を利用してお弁当を購入し、栗山川を見ながら昼食を食べ、芝山仁王尊に向かうようになっている。

観光ガイドとして市内にお金が落ちるようにふれあいパークや市内飲食店のPRを続けている。市も財政状況厳しい中ではあるが費用対効果を考えながら観光事業を展開し市内にお金が落ちていくような取り組みを推進してもらいたい。

次に銚子連絡道路匝瑳インターチェンジ周辺の産業用地整備と国事業のゼロカー

ボンシティの推進のため、新たに商工観光課とゼロカーボン推進課が立ち上がったとのこと。匝瑳市の将来につながる事業であるので、総力を結集して推進いただき、匝瑳市がより良い方向に向かうようにしていただきたい。

それとガイド業務にあたっての要望がいくつかある。

1つ目は、飯高檀林駐車場トイレのLED照明についてだが、現在、一晩中電気が点灯しており、夜間に虫が集まり、虫の死骸などでトイレ掃除が大変なことになっている。駐車場は夜間も空いており、電気を消すことはできないので点灯方法をセンサー式に変更してもらい人が来ないときは照明が切れるようにしてもらいたい。

2つ目は、人口増加策に関してだが、成田市の三里塚で祇園祭りが毎年開かれおり、周辺の学生に山車を引かせる体験などをさせている。地元のお祭りのすばらしさをPRすることに余念がない。匝瑳市にも祇園祭りがあるので若い人にお祭りをPRし、ここに住みたいと思わせることにつなげられるような取り組みの実施を願いたい。

生涯学習課長

トイレの話は初めて伺ったので今後検討させていただきたい。

発言者

数年前、香取・銚子・旭・匝瑳の市議会議長さんたちが檀林を訪問した際に案内を行ったが、素晴らしい建物、大自然があるのにPRが足りていない。もっとしっかりPRすれば観光客が多く訪れるようになると指摘された。ガイドとして精一杯PRをしているがまだPR不足を解消できていない。世の中、宣伝とPRの時代である。いまさらながらとは思いますが、広報紙や県民だより、商業新聞などに飯高檀林に関する記事が掲載されるよう広報活動に力を入れてほしい。市民のみならず、県民にも飯高檀林を知ってもらう活動を推進してもらいたい。

具体的な話になってしまうが広域農道に日本最古の大学と書かれた大きな柱が立っている。この看板を数回見た人が気になって檀林へ観光に来る実態がある。国道126号と国道296号にはまだ看板は設置されていない。檀林の案内看板を設置することで大きな集客が見込めると思うのでぜひ設置を行ってもらいたい。

発言者

10年前から比べると多くの観光客が訪れるようになり、訪れる観光客などからよく指摘されることがある。指摘事項について自分の意見を含めてお伝えしたい。

1 点目は駐車料金について。訪れる人たちから駐車場が無料であることに大変驚いている。どこの観光地の駐車場も有料であることが多いので檀林の駐車場も有料化してはどうか。年間を通じて駐車台数はかなりあるので収入増が見込めると思う。また駐車料金を徴収していないため、檀林の観光をしていないと思われる車が一日中置いてあったり、昼間には無料休憩スペースとして駐車場が利用されている。10 台停まっても観光客の車は 1 台だけのような状態で治安の面からも心配。駐車料金を徴収すれば利用したい人だけが利用する形となる。料金を取れるようにしてほしい。

2 点目は飲食問題について。お弁当を持参する観光客もいる一方、食べ物や飲み物を売店で購入できるようにしてほしいという人も多い。できれば売店でそういった物を販売できるようにしたい。以前、飲食で使用するベンチを 2 カ所設置してもらったが、暑い時期は全く利用されていない。暑い時期は車内で食べていることが多い。

観光案内所の見直しも必要ではないか。いつも来るリピーター客に売るものが無い。売っているものがいつも同じものしかないため、最近は販売数も減ってきている。現在の案内所での販売の場合、雨が降れば商品が濡れてしまうため、雨になったらすぐに片付けを行っている。ちゃんとした販売所兼休憩所が整備できれば観光客のさまざまな要望に答えられると思う。こういった物販に関する問題は 10 年前から続いている。軽いお土産が欲しいというお客さんはいるが、お土産として並んでいるものもいつも同じで進展がない。新しい物品の追加など販売品の見直しをしてほしい。

3 点目はバスの運行本数が少ないことについて。バスで観光に来る人はバスの本数が少なく、ここまで来るのが大変だと口々に言っている。増便などの対応を検討願いたい。

飯高寺の PR 不足も常に感じている。NHK の朝ドラなどで飯高寺が撮影場所として登場するとその影響で観光客が訪れることが多い。飯高地区の方に協力をいただき、匝瑳市独自の観光 PR を推進してはどうか。

もっと多くの方に来訪いただけるように案内看板を多く設置していただきたい。境内にある「この先 500m ○○があります」といった目印看板も 3 本くらいしかなく、少なすぎる。観光客もどこに何があって、行くまでにどのくらい時間が必要なのか分からないことが多く、散策を途中で切り上げて帰る人が多い。目印看板を増やしていただきたい。

発言者

距離を記載した矢印案内看板の設置は現在、中断しているようである。3 カ所程度

しか整備されておらず、これでは観光客に不親切ではないかと思う。設置を再開してもらいたい。

市長

観光する視点で実際に歩いていなかったため親切心が足りていなかったところがあったかもしれない。一度、そういった視点で歩いて問題点などを探したい。

商工観光課長

現在、飯高寺周辺のガイドマップの作製を検討しています。

また、匝瑳 IC の東京方面からの出口付近に大型の観光案内用看板を設置する協議を現在行っており、しばらく時間はかかるかもしれませんが市内を PR できるような状態にしていきたいと考えています。

発言者

看板の話があったので 1 点お願いがあります。安久山のスタジイの入り口に看板を設置してもらいたい。以前から要望しているがまだ設置されていないと思う。観光客にスタジイの場所の説明をする際に目印になるものがないため困っている。

商工観光課長

スタジイの場所の案内看板については、県道の入り口部分については簡易看板を設置済みとなっている。スタジイ自体が個人宅の敷地内にあるため、行ったことのない人にはわかりにくい場所だと思う。簡易的な看板の追加を検討したい。

発言者

看板の状況をガイドは把握しておくべきであるし、現状ある物を活用して観光客が場所にたどり着けるよう説明をできるようにならないといけない。これは難しいことではない。

市役所には計画した看板設置を粛々と進めてもらうことを望む。

飯高特別支援学校校長

学校側から今回 3 人参加させていただいたが立場的にはオブザーバー的な立場であると思う。

今回初めて参加したがイメージして会議とは違った。懇談会ということでテーマがあり、それについて話し合いを行うものと思っていたが、実際は皆さんからの要望や、これからの匝瑳市を良くしていくための熱い思いを伝えることがメインであったように感じる。こういった思いを持った人たちがいることで匝瑳市が前に進んでいると感じた。それに対して市長が自分の言葉で真摯に答える姿に感銘を覚えました。

冒頭、この会はより良い市政に向けての意見交換会であると市長が述べられたが、これからの匝瑳市のために熱い意見が交わされたと思う。話を聞いていてこれから大切なことは「協働」という言葉かと思います。協力して働くという言葉の協働だが、市民同士の協働、市民と役所との協働を進めていくことが大事だと思いました。

市長

長時間にわたり貴重なお時間をいただき誠にありがとうございました。改めて皆さんが飯高檀林、飯高地区そして観光ということに対して非常に熱い思いを持っていることを改めて感じることができました。

地域のみならず匝瑳市というところまで皆さんが考え、今できることを一生懸命にやっていく活動のひとつひとつが結集することで匝瑳市の魅力、活力というところにつながっていくものと思っています。

そのような中でより一層、今回、皆様からいただいた意見を踏まえ、まだまだ我々が足りていない視点からの意見が多かったと思いますのでそのようなところをしっかりと活かし、検討という言葉で終わらせないようにしっかりとひとつひとつの提言に対し、提案してよかったなとなるように予算も含めて一生懸命検討してまいります。

これからも皆さんと一緒に観光行政を進めていくことが重要と思っています。我々も我々の立場、皆さんも皆さんの立場からそれぞれが一生懸命に取り組めば必ず良くなると思っていますので引き続きのお力添えをよろしくお願いします。

本日は誠にありがとうございました。

以上